

照屋6点 チーム鼓舞 小柄な体 果敢にシュート



男子決勝 沖縄一富山 後半、照屋拓実（左）が20点目のシュートを放つ
（エムアイプランニング撮影）

照屋拓実が接戦となった決勝でチーム最多の6点を挙げ、勝利に貢献した。3点差を追いつかれて突入した延長前半。床をはうように低い姿勢から強烈なシュートを決めると、伊禮楓雅

と親泊寛粋が連続得点で続き、チームを波に乗せた。身長181cmの相手GKに手こずったが「シュートを打つ際、動きを見て逆を突いて決めることができると振り返る。

ベンチではコートに向かつて声を出し続け、メンバーの足をマッサージした。他校を含め仲間と達成できた3冠に「めっちゃうれし

い。中学に入った時からの目標を、みんなで達成することができた」と喜ぶ。高校進学後も競技を続けたい。シュートの成功率も上げたい」と意欲を示した。